

事務連絡
平成25年8月30日

独立行政法人日本原子力研究開発機構 御中

文部科学省
研究開発局原子力課

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。評価基準等については、別に定める「国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価について」をご参照願います。

課題名	最先端研究基盤 JMTR 及び関連施設を用いた研修講座の新設
実施機関	独立行政法人日本原子力研究開発機構
実施期間	平成22年度～平成24年度

【評価結果】

A	計画以上の優れた成果があげられた
---	------------------

【審査評価委員会所見】

< 推奨意見 >

●照射試験炉を活用した実践的な研修講座が確立し、今後も十数年間にわたって継続できる見通しとなったことは高く評価できる。特に、社会人、大学院生、大学生及び高専生が、10日間にわたって、共に学ぶ機会が提供されたことは、参加者にとって大きな刺激になると同時に、人脈形成という点でも有意義であったと評価できる。

●原子炉基盤研究の重要分野の一つである材料、燃料の照射試験に関し、設備の設計、試験炉の運転管理及び照射後試験までの一連の流れを系統的にソフト・ハードの両面から懇切丁寧に実習させる貴重なプログラムであり、研修用テキストも具体的にかつ丁寧に作成されている点において高く評価できる。

●本事業の実施により、JMTR 及び関連施設を用いた研修が、原子力人材育成のための実践的な研修講座として認識され、今後も、2030年頃までの事業継続を計画されている点についても大いに評価できる。

<今後への参考意見>

●東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、実際の照射試験が行えなかったことは大変残念である。本事業を継続させるには JMTR の再稼働が最重要課題であるため、再稼働に向けた着実な準備を進めて頂きたい。

● 実践的な研修を行わせる上では、すべてが円滑にいく訳ではないため、研修生に自主的に取り組みさせ、その中での失敗事例について研修生同士で議論させることにより解決策を見出させるような教育も有効ではないか。